
模造店主

いち

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

模造店主

【Zマーク】

Z6813C

【作者名】

いぢ

【あらすじ】

今より、ちょっとだけ先のちょっとだけズれた。ちょっと風変わ
りなお店のお話です。

開店準備

いらっしゃいます。

重厚なドアを開くと突如として、無機質な音が耳に触れた。いつもの事ながら、この店の店主は無愛想である。

アンティーク調な家具に、照明、細部に至まで大正浪漫を思わせる。店主の趣味かと聞けば、どうやら老舗らしい。

そもそも、この職に老舗も何もあるのだろうか。

卓上に置かれた西洋ランプが揺れる。

「また君かい」

白麻のシャツに濃紺なベスト、朱色のタイを締めた店主が現になる。この店の店主、名前は知らない。

曰く、情が移るので名前は交換しあわない主義らしい
歳の頃は20代をやつと、越えた様にも見えるし、屈託の無い口調
を漏らす時は学生にも見える。

しかしどと、一度職に専念すれば、熟年された表情を浮かべる。

「本日は如何様で？私の店へ？」

黒い瞳が僕を捕らえる。

「いつもの品を見せてくれないかい？」

僅かな期待を胸に焦躁を彼にぶちまけてやる

一つため息をつき、田を通していたあるひつ洋書に朶を忍ばせる上
質な和紙で用いられたアンティークな品だ。

やれやれと、首を傾げさせる

「私の店は見世物小屋では、『ございません』

どうやら彼にとつて僕は招かざれる来客のようだ。

残念ながら僕は、この店に何かを買いに来た訳ではないのだ。

と、言うよりも未だ決心が着かないが故に足しげく通っている。

店主は店の奥に一度入ると、ガラスケースに鎮座させられている商品を手に取りもどつてきた。取り出したばかりの、商品は白い冷気を撒き散らせている。

私が欲しいもの、魅了してやまない

「やはり美しい」

僕は枯木を括り付けただけの、無骨な右腕でガラスケースに触れる。慎重な扱いで、木目調のカウンターに店主はそれを取り出す。

「ええ、こちらは掘り出し物です。右上腕にござりますよ。」

そう、この店主の店は人体をパートで小売りをしているのだ。

一昔前迄は非合法な闇取引だと、あまり良い印象を受ける事はなかつた。

しかし、そんなモラルは曾祖父の世代迄であろう。

僕の様に右腕を枯木で、補う者。眼球をビー玉で踊う者、臓器を牛や豚の臓物にする者も少なくない。

勿論通常のパートを持って、生まれる者もいれば、機械で構成されている者もいる。

この、ご時世人間に近い者程、良い生活が送られるのだ。

僕の右耳は申し訳程度に空洞が空いている。そこに電化屋で仕入れたイヤホンを突っ込んでいるし、右腕は肘の先からは空虚なのだ。枯木屋で買ったワンコインの見切り品である、小枝をガムテープで三重巻きにして代用している。

同情を買わない様に告げるので、あれば僕は何等不自由は無いのだ。
僕より下層な出で立ちは幾らでも、存在する。

言つてしまつのであれば、肉塊に毛の生えただけの人間も存在する
し。

店主の言葉を借りるのであれば、車のカスタムと何ら代わらないの
である。

マフラー やハンドルを良質な者に変え、塗装をより好みに変える。
それを扱うのが、
この店の店主が経営する
模造店である。

開店準備（後書き）

読んでいただき、ありがとうございます・・よろしかった感じ
想、評価お願いいたします。一応、もう少しお話し続けます

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6813c/>

模造店主

2010年12月18日18時17分発行